

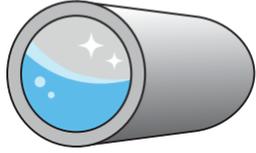


# なぜ今、水道料金の適正化が必要なのでしょうか？

## 地震に強い 水道管へ交換

耐震化率 **46.5%**

老朽化への対応だけでなく、地震に強い水道管への交換も必要となっています。耐震化を進めています。令和5年度現在46.5%にとどまっています。



## 水道料金収入の 減少

**▲2.8億円**  
(令和6年度→令和20年度比)



水道水の使用人口が減少し、さらに節水機器の普及により、水道水の使用量が減少しています。それにより、水道料金収入も減少しています。

上昇率約 **130%**  
(令和元年度→令和6年度比)

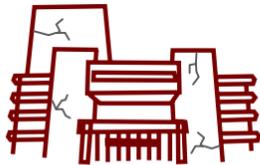
## 工事費の 上昇



市内の水道管路施設は、昭和40～50年代に整備されたものが多くあります。工事を行うための費用は、人件費や物価の高騰で、年々増加しています。

## 施設の 老朽化

水を届けて **57年**



市内には3つの浄水場があり、一番古い湖北台浄水場は、昭和43年に給水を開始してから、57年が経過しています。水を届けるには、古くなった施設の更新も必要です。

1㎡あたり

## 原価割れ

水の販売価格

**183.1円**

(令和6年度決算見込)

水を作るための費用

**187.2円**

(令和6年度決算見込)

水を作るための費用が  
水の販売価格より高いうな～



# 老朽化の対策と耐震化を進めるために 水道料金の適正化が必要です



55周年記念ロゴマークを使用した『あびすい』のラベルと消火栓用鉄蓋を製作しました



▲マンホール設置場所HP

## 水道料金の改定が必要

### 水道事業運営審議会からの答申がありました

我孫子市長は水道事業運営審議会に対して、「我孫子市水道料金改定計画(案)について」、意見を求める諮問を行い、令和7年5月30日に審議会からの答申を受けました。答申では、今後現行どおりの水道サービスを維持するためには、水道料金の改定が必要であるとの結論に至っており、市は審議会からの答申を受けて水道料金の改定に取り組んでまいります。



▲水道事業運営審議会HP



▲林会長

▲星野市長

水道料金・下水道使用料のお支払いに「FamiPay」請求書支払いが可能となりました